

令和5年度北海道函館西高等学校 卒業式式辞

先日まで吹き付けていた雪も、雨に変わる温かな季節となりました。

ただ今、担任から呼名され、卒業証書授与となった226名の卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます。保護者のみなさま、お子様が本日晴れて、函館西高等学校を卒業することに対し、心からお祝い申し上げます。「誠におめでとうございます。」 また、本日、卒業式を挙げるに当たり、PTA会長 関本広規 様、つつじヶ丘同窓会長 渡辺俊二 様をはじめ、たくさんの方々にご臨席を賜りました。「誠にありがとうございます。」

卒業生のみなさん、本校の校訓は「志高く 未来を創る」です。この校訓には、理想を求め、これからの社会を主体的に担ってほしいという願いが込められています。

さて、卒業生のみなさんに、お伝えしたいことが3つあります。

1つめは、一日でも早く、保護者から経済的自立を果たしてほしいということです。本日3月1日までに、誕生日を迎えたみなさんには、卒業とともに成人を迎えたことに対してもお祝い申し上げます。4月から就職などで社会人として活躍するみなさんは、経済的自立を果たすことが可能であるかもしれません。一方、大学等の進学者については、18歳で成人となっても、まだ保護者の経済的支援を必要とするはずです。大学等の進学先を卒業するときに、社会人として何をしているのかを見据え、数年後には、保護者に頼るのではなく、経済的自立を果たし、主体的に社会を担ってください。

2つめは、さまざまな形で函館や道南に貢献してほしいということです。4月から函館や道南に居住するみなさん。ありがとうございます。皆さんには、まちの未来を考え、支える人になることを願っています。また、函館を離れ、道内外に住むみなさんは、函館の支援者・応援団として活躍することを願っています。函館や道南のよさをPRしてください。そして、道内外で活躍し、地元のよさを改めて認識することができたなら、Uターンで函館に戻り、一人でも多くの方がまちを支える人になることを願っています。

3つめは、安心安全に生活してほしいということです。あなたの命を大切にしてほしい。他者の命を大切にしてほしい。あらゆる人を価値のある存在として尊重してほしい。人に優しい人であってほしい。そのようなことを私は願っています。

卒業生のみなさん。これまで下校するときには、足早に函館湾に向かって坂を下り、校舎を仰ぎ見ることはなかったと思います。今日、校舎を出て、西高の坂を下り、八幡坂に降り立ったとき、一度校舎を見上げてほしいと思います。すでに卒業証書は授与されましたが、校舎を改めて見上げたときに、函館西高校から卒業します。

結びになりますが、保護者の皆様は、これまでお子様を大切に育ててきたことと思います。これからも、18歳で成人となったお子様に対し、人生の先輩として、その姿を示してほしいと思います。卒業生のみなさんがより一層成長し、社会で活躍することを期待し、式辞いたします。